



第24回 「Introduction to agent skills」 Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

設定と、複数ファイルのスキル

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Introduction to agent skills / Configuration and multi-file skills

前回までで作った1つを、もっと効く形にします

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第24回



Introduction to agent skills の第3回

原題 Configuration and multi-file skills

訳 設定と、複数ファイルのスキル

名前と説明だけでも動きますが、進んだ使い方がいくつかあります

① 札書きの項目



原石工房

原題 Skill Metadata Fields

必ず要るのが2つ、無くてもよいのが2つ

name

必ず要る

小文字・数字・ハイフンだけ。64文字まで。フォルダ名と同じに

description

必ず要る

いつ使うのかを伝える。1,024文字まで。いちばん大事

allowed-tools

無くてもよい

書いた道具を、先に許しておく

model

無くてもよい

そのスキルで、どのモデルを使うか

公開された決まりが主な項目を定め、Claude Code が自分のものを足しています

name (必ず要る) 小文字・数字・ハイフン
だけ。64文字まで。フォルダ名と同じに

description (必ず要る) いつ使うのかを伝
える。1,024文字まで

いちばん大事なのは説明です。Claude は
これを見て当てはめます

2つ書けば、もう動く

① 無くてもよい2つ



原石工房

必ず要るのが2つ、無くてもよいのが2つ

name

必ず要る

小文字・数字・ハイフンだけ。64文字まで。フォルダ名と同じに

description

必ず要る

いつ使うのかを伝える。1,024文字まで。いちばん大事

allowed-tools

無くてもよい

書いた道具を、先に許しておく

model

無くてもよい

そのスキルで、どのモデルを使うか

公開された決まりが主な項目を定め、Claude Code が自分のものを足しています

2つ書けば、もう動く

allowed-tools 書いた道具を、先に許しておきます

model そのスキルで、どの Claude のモデルを使うかを決めます

公開された決まりが主な項目を定め、Claude Code が自分のものを足しています

② 効く説明の書き方



原石工房

原題 Writing Effective Descriptions

良い説明は、2つの問いに答えている

① そのスキルは、何をするのか

② いつ、Claude はそれを使うべきなのか

「あなたの仕事は、書類を手伝うことです」
これでは、何をすればいいかわかりません

Claude も、同じように考えます

思ったときに動かないなら
ふだん自分が使う言い回しに合う言葉を、もっと足す

言葉づかいが、ものを言う

良い説明は、2つの問いに答えています

そのスキルは何をするのか。いつ
Claude は使うべきなのか

「書類を手伝うことです」では、何を
すればいいかわかりません

② 動かないときは、言葉を足す



原石工房

良い説明は、2つの問いに答えている

① そのスキルは、何をするのか

② いつ、Claude はそれを使うべきなのか

「あなたの仕事は、書類を手伝うことです」
これでは、何をすればいいかわかりません

Claude も、同じように考えます

思ったときに動かないなら
ふだん自分が使う言い回しに合う言葉を、もっと足す

思ったときに動かないなら、言葉を
足してみます

ふだん自分が使う言い回しに合う言
葉を入れます

説明は、関わりがあるかを決めるこ
ろなので、言葉づかいがものを言
います

言葉づかいが、ものを言う

③ 道具を、先に許しておく



原石工房

原題 Pre-approving tools with allowed-tools

先に許しておく。取り上げるのではない

allowed-tools: Read, Grep, Glob, Bash

この4つは、動いているあいだ聞かずに使える

ほかの道具が使えなくなるわけではない

書き換え・作成は、ふだんの許しの設定どおり

許しは、次の言葉を送ると消える

呼んだ手番のあいだだけ

書かなければ、先に許されるものは無い

どの道具も、ふだんの決まりで動く

Bash とだけ書くと、命令を打つこと全体を許すことになる

信用しているスキルだけに。または `Bash(git status *)` のように絞る

書いた道具は、呼んだ手番のあいだ、聞かずに使えます

この許しは、こちらが次の言葉を送ると消えます

例 `allowed-tools: Read, Grep, Glob, Bash`

取り上げたいときは `disallowed-tools`

③ 縛るものではない



原石工房

先に許しておく。取り上げるのではない

allowed-tools: Read, Grep, Glob, Bash

この4つは、動いているあいだ聞かずに使える

ほかの道具が使えなくなるわけではない

書き換え・作成は、ふだんの許しの設定どおり

許しは、次の言葉を送ると消える

呼んだ手番のあいだだけ

書かなければ、先に許されるものは無い

どの道具も、ふだんの決まりで動く

Bash とだけ書くと、命令を打つこと全体を許すことになる

信用しているスキルだけに。または `Bash(git status *)` のように絞る

ほかの道具が使えなくなるわけではありません

書き換えや作成は、ふだんの許しの設定どおりに扱われます

Bash とだけ書くと命令を打つこと全体を許すので、形を絞ります

取り上げたいときは **disallowed-tools**

④ 少しずつ見せる

原題 Progressive Disclosure

欠かせない手引きだけを、SKILL.mdに残す

SKILL.md 500行より短く

目次だけを置いておく、という形

scripts/

走らせるもの

references/

付けたしの資料

assets/

絵・ひな型・そのほかの材料

つなぎ先には「いつ読み込むのか」を書く。要るときだけ読めます

走らせるものは、中身を持ち込まずに動く

「読め」ではなく「走らせろ」と書く。出た答えだけが場所を食う

全文ではなく、目次を置く

スキルは、やりとりと同じ場所を分け合って使います

2,000行を1本に詰めると、場所を食い、手入れも楽しくありません

欠かせない手引きだけを SKILL.mdに残します

④ 3つに分ける



原石工房

欠かせない手引きだけを、SKILL.mdに残す

SKILL.md 500行より短く

目次だけを置いておく、という形

scripts/

走らせるもの

references/

付けたしの資料

assets/

絵・ひな型・そのほかの材料

つなぎ先には「いつ読み込むのか」を書く。要るときだけ読まれます

走らせるものは、中身を持ち込まずに動く

「読め」ではなく「走らせろ」と書く。出た答えだけが場所を食う

scripts/ 走らせるもの /
references/ 付けたしの資料

assets/ 絵・ひな型・そのほかの材料

つなぎ先には「いつ読み込むのか」
を書きます。要るときだけ読まれます

全文ではなく、目次を置く



1本に詰め込む

2,000行の SKILL.md

場所をたくさん食う

手入れが楽しくない

少しずつ見せる

SKILL.md は500行より短く

要るときだけ、別のファイルを読む

走らせるものは、出た答えだけが場所を食う

読まないものは、入れない

⑤ 走らせるものを、無駄なく使う



原石工房

原題 Using Scripts Efficiently

走らせるものは、中身を持ち込まずに動かします。出た答えだけが場所を食います

SKILL.md には「読め」ではなく「走らせろ」と書きます

動く場の確かめ、形の作り替え、試した通りに動かしたい仕事に効きます

言葉を3つ、確かめます



原石工房

allowed-tools

先に許しておく道具
を書く欄。動いてい
るあいだ、聞かずに
使える。取り上げる
側は
disallowed-tools

少しずつ見せる

要るときだけ別の
ファイルを読ませる
組み方。SKILL.md
は500行より短く保つ

手番

こちらが1回話しかけ
てから、Claude が答
え終わるまでのひと
まとまり

今回のまとめ



原石工房

必ず要るのは name と description の2つ

良い説明は、何をするか・いつ使うかの2つに答えている

allowed-tools は先に許すもの。使える道具を縛るものではない

SKILL.md は500行より短く。細かい資料は別のファイルへ

走らせるものは「読め」ではなく「走らせろ」と書く



Introduction to agent skills の第4回

原題 Skills vs. other Claude Code features

訳 他の機能との使い分け

CLAUDE.md ・ サブエージェント ・ フック ・ MCP と並べて比べます

全51回の、25回目です

あなたのスキルは、何行になりそうですか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く